

2月

あつぎ・九条の会

現在会員
1643人

〒243-0206
厚木市下川入369-4
TEL 046-246-0179
編集責任者
大友 三昭
E-Mail
ohtomo3m@
yahoo.co.jp

厚木市九条の会ネットワークの「X」(旧ツイッター)昨年10月より厚木市九条の会ネットワークでSNS「X」を開設しましたので皆さんのアクセスをお願い致します。左記「X」を開いて検索に「厚木市九条の会ネットワーク」と入力すると見られます。
<https://twitter.com/gnetwat>

改憲を阻止しよう！

岸田文雄首相は1月30日の施政方針演説で、憲法改正について「あえて自民党総裁として申し上げれば(9月までの)任期中に実現したい」と明言。首相は改憲を「先送りできない課題」の一つに位置付け、任期中の実現に向け「議論を前進させるべく最大限努力したい」と表明し、「条文案の具体化を進め党派を超えた議論を加速していく」と訴えました。

首相はこれまでも国会で改憲には言及していた。ただ、昨年10月の所信表明演説で「条文案の具体化などこれまで以上に積極的な議論が行われることを期待する」と話すなど、国会での議論を促す程度にとどめてきた。

ところが、今回を含めた首相の施

政方針と所信表明の演説計7回で改憲に関する分量は今回が最も多い。

日本国憲法の平和主義

憲法は国の最高法規です。日本国憲法の第2章戦争の放棄、第9条【戦争放棄、戦力及び交戦権の否認】の条文は、①日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。②前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

日本国憲法は徹底した平和主義を採用し、比較憲法



れは、国民の政治への関わりの低さのバロメーターです。

1993年に金のかからない選挙制度として中選挙区制から小選挙区比例代表並立制に移行しました。

投票率が上がれば政治も変わる

自民党の裏金問題で、国会に激震です。自民党と金の問題はこれまでも何回ありましたが、形を変えて出てきます。その原因の一つに、自民党一強政治があります。そして、一強政治の原因は国民の政治への関わりが弱いこと、とりわけ国民が政治に直接かかわれる選挙の低投票率にあると思います。世界各国の投票率と比較しても、194国、地域中、日本は139位です。こ

グラフでも分るように小選挙区を境に投票率が下がっています。一選挙区で一人しか選べない為、多様な考えが反映されない制度に原因の一つがあると思います。第49回総選挙で

史的にも際立った特徴を持っている。前文では、「政府の行為によって再び戦争の惨禍が起こることのないやうにすることを決意し」、「平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、われらの安全と生存を保持しようと決意」と平和の「守り方」と「創り方」に一般原則を明快に宣言。第九条において、国家が「してはならないこと」を明確に定めている(禁止規範)。九条の一項で放棄された国家の武力発動形態には「国権の発動たる戦争」、「武力の行使」、「武力による威嚇」の三つがある。九条一項は「不戦条約」で放棄された「戦争」を含む三つの形態を列挙することによって、不戦条約から国連憲章に至る「戦争と平和」の法発展を再確認したものです。(水島朝徳著「憲法の実態的研究」を参照)(小池康夫)



自民党は小選挙区で65%の議席、比例では40%で小選挙区で25%議席増(利)を得ています。又、学校や職場で政治の話が出来ない、政治教育がされていない事、野党統一が出来ていない、などがあると思います。投票にいかない方の声として、「興味がない」や「投票しても変わらない」という声が多くあります。金権政治ではなく、選挙制度の見直し、政治教育の導入、野党の統一が政治に求められています。(大友三昭)



厚木市にある10の「九条の会」では、ネットワークを作り、毎月9日に打合せと本厚木駅前で行なっています。(写真：1月の宣伝行動)

1月はパレスチナと能登半島地震の支援募金の呼びかけを行いました。

通りかかった小学生の子供達4名がお年玉？からカンパをしてくれました。みんなで「ありがとうございます」と声かけをしました。

署名も10筆程あり、その内一名の方が入会されました。

毎月9日に宣伝行動

厚木市にある10の「九条の会」では、ネットワークを作り、毎月9日に打合せと本厚木駅前で行なっています。(写真：1月の宣伝行動)

- ### 《 行 事 案 内 》
- ・大軍拡・増税反対スタンディング
2月19日(月) 13時~
本厚木駅北口
 - ・あつぎ・九条の会サポーターの会
3月5日(火) 14時~
保健福祉センター 研修室
 - ・厚木市九条の会ネットワーク会議
3月9日(土) 14時~
アミュー608
 - ・9の日行動
3月9日(土) 16時~
本厚木駅北口
 - ・菱山南帆子さん講演会
3月24日(日) 14時~
海老名市文化会館 3F351~353
参加費：500円(資料代)



パンフレット表紙

憲法9条は宝!

◆派閥は残し、順送り大臣を維持とは!

思った通り、やっぱり自民党は派閥を解消できなかった。

自民党の政治刷新会議が本質を隠すポーズだけだった。これでは政治の腐敗は続き、政治と大企業の癒着は温存されます。そして国民の税の負担増と生活の苦しさは改められません。

能登半島大地震の復興のためのボランティア活動、街角などいたる所での災害義援金の募金活動が行われています。これらの善意の活動は被災地の方々を見捨てない、大きな励みになります。

一方、自民党議員の政治資金パーティにおけるパーティ券売上げから多額(数百万円〜数千万円)の裏金を違法に得た、特に5〜6人衆と言われた幹部等は、自分の(とはいっても元は税金)ポケットマネーで募金に応じたニュースは聞かない。う

「憲法9条は宝!」設置紹介

厚木市九条の会ネットワークでは、現在「憲法9条は宝!」の看板設置可能な運動を進めています。看板設置可能の方は、会連絡先まで連絡をお願いします。(写真は1月に設置された厚木市温水の41枚目の看板)



ここに改憲に邁進する自民党の裏の顔の恐ろしさがあります。

わべだけのお詫びに時間を浪費し、次の選挙のことしか頭にない。

なにしろ当選回数だけで大臣のポストが自動的に転がり込んでくる組織と仕組みだから。もちろんそのポストは適材適所とは無関係です。それは辞職した議員本人がそのことを告白しています。

◆訴えたいこと

適材適所であるかどうか疑わしい大臣達が、米軍の意向で日本製の殺傷力ある武器輸出を決め、能登半島地震に便乗して



「発議」を、思慮も熟慮もなく行うとする狂気沙汰を、なんとしても止めなければなりません。

この1月に行われた東京都八王子市長選で、パーティ券の売り上げをキックバックして検察の捜査を受けた元自民党幹部は、もともとザル法の下で嫌疑不十分となるや、お詫びを兼ねた応援演説には顔を出しました。その候補者は当選しました。

私達は目に見える現象だけにとらわれず、その裏に隠された狙いを見定めて明らかにし、普段の努力で戦争のない「平和な日常」を守っていかねばならないと思います。

◆看板「憲法9条は宝!」が計41枚に

会員お二人の看板設置行動から始まった「憲法9条は宝!」の看板数が、1月22日で計41に拡大しました。設置を受け容れていただいた方々、設置に加わっていただいた方々に心から感謝いたします。

これを励みに、「大軍拡NO! 大増税NO! 憲法改憲『発議』NO!」の訴えを、粘り強く続けていきます。

(北川和麿)



講演「河野村開拓団と祖父と私」に参加して

先日、三鷹市NPO法人中国帰国者の主催する標記講演会で、精神科医にして劇作家の胡桃沢伸(くるみさわ・しん)さんのお話を伺い、大変感銘を受けました。

講演は、2018年に長野・信越放送が制作した伸さんが祖父の足跡を訪ねる「決壊 祖父が見た満州の夢」のDVDを視聴したあと質疑応答を含めて2時間ほど行われました。

河野村(現豊丘村)も貧村で、100人ほどの満蒙開拓団を送り出しましたが、敗戦時に集団死の悲劇の村となりました。生きて日本に帰国でき

た村民は、わずか一人であったと言います。当時の胡桃沢村長は、「分村移民」にはそもそも消極的でしたが、やむをえず国策に協力。戦後、開拓団が集団死に追い込まれたことを知り、自責の念から「自分の土地は渡満した村民の遺族に渡してほしい」と遺書を残して派遣村長の中でただ一人自死をされました。41歳のことでした。

講演の終了後の質疑で伸さんはこう答えられました。

「家族として祖父の気持ちはわかるし、親近感もある。若くして夫を亡くした祖母の気持ちもせつない。しかし、自分が思うのは、祖父はやはり甘かったと思う。祖父が美化されることを懸念している。事前の現地視察で大下条村の佐々木村長は、開拓の欺瞞を見抜いて分村を拒否したが、祖父は、『ここはいい村だ』と日記に書き残している。河野村の人々のためにはつくしたかもしれないが、土地を強奪される中国の人々の心には思いが及んでいない。」

「祖父は自死を選ぶべきではなかった。生きて、苦悩と決断の真実を世に明らかにするべきだった」と。

満蒙開拓と戦争の歴史に見る「被害者として」「加害者として」の二つの側面を通じた戦争責任の考え方。これには、戦後直後の「一億総ざんげ」論、「天皇・軍部・財閥・官僚の責任」論、伊丹万作さんの「騙した人間が悪いが、騙されたものも」という論などありますが、政治家の

責任と良心はどうあるべきか、市民としての真の自我・個の確立をはかることがいかに大切なことか、深く考えさせられました。(木下長義)

平和憲法を守りまじょう

戦争中に起こった飼犬の悲劇です。戦争は人間はもとよりペットも巻き込みました。

【戦争 悲劇】日本中の犬や猫が居なくなった日

(下記URL、QRコードから視聴できます)
https://www.youtube.com/watch?v=t_o8yhFd8h0



川柳

妻田(安芸礼太)

センセイは今度も秘書に罪を着せ今は亡き安倍に検察付度し

旭町(紀)

募金箱子らの善意であたたまる裏金も表のカネも無い庶民

愛川(康)

能登地震原発止めて助かった沖縄を日本のガザと呼んでくれ

下古沢(和)

税金でミサイル買わず能登復興使えるね知らぬ存ぜぬ確申告

下川入(昭)

沖縄の自治権認めぬ司法まで裏金と政党助成で議席得る

